

海外安全対策情報 2018年10月～12月

在スロベニア日本国大使館

1 社会・治安情勢

(1) 一般犯罪・事件

報道によれば、宝石店での催涙ガス使用強盗事件の発生（10月、リュブリャナ）、保育園での児童虐待容疑事案（10月、リュブリャナ）、拳銃様の武器を使用した銀行強盗事件の発生（10月、ノボ・メスト）、国民議会への白い粉郵送事案（10月、リュブリャナ）、嵐による倒木及び河川氾濫（10月、コロシュカ地方、ゴレンスカ地方等）、少年らによる薬物密売事件の検挙（11月、ノバ・ゴリツァ）、スーパーマーケットでの事後強盗事件の発生（11月、リュブリャナ）、カヤック中の外国人死亡事案（11月、ウチャ川）、マリボル市役所への黒い粉郵送事案（11月、マリボル）、融資継続を巡る銀行員らによる企業対象恐喝事件の検挙（11月、マリボル等）、コペル刑務所からの脱走事件（12月、コペル）、現金輸送中の警備員に対する強盗事件の発生（12月、リュブリャナ）などがあった。

(2) 移民・難民

警察のHPによれば、警察が取り扱った2018年中の不法越境件数は、9,149件であり、前年の1,934件から373.1%増加。不法越境者国籍上位は、パキスタン、アフガニスタン、アルジェリアであった。不法越境の取扱上位は、コペル方面警察及びノボ・メスト方面警察であった。

2 邦人被害

邦人観光客等のスリ・置き引き被害は、引き続き発生しており、2018年10月から12月は、リュブリャナ中心部及びブレッドでの被害が報告された。

3 誘拐・脅迫事件発生状況

当国における邦人の被害情報はない。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

当国の対日感情は全般的に良好であり、問題の報告はない。

以上